

# 『局在神経学講座』Web 第Ⅱ期「神経局在診断を読む」

間脳と自律神経系① 2022/5/12 講師 丸山正好

## 間脳

大脳半球の間にある灰白質の塊として存在  
視床、視床上部、視床下部の3領域に区分される

## 体内時計はどこに？

サーカディアン リズム(概日リズム)  
24時間周期で変動する生理現象

## メラトニン

### 両生類

- メラニンを含む色素細胞に作用、皮膚の色を退色させる
- メラニンの拮抗作用物質

### 哺乳類

- 生殖機能抑制作用
- 松果体を破壊すると思春期早発症

メラトニン濃度 → 一日の( )に合わせて変動 → メラトニン合成酵素(NAT)が → 光刺激により抑制される → メラニンの日内変動に合わせ生理的現象・行動が変動 → ( )

## 視床

神経核の集合体、感覚の中継核として働く  
視床核は下位脳と大脳皮質を連絡、中継

## 末梢よりの入力と大脳皮質への出力

添付図参照

末梢よりの刺激は、基本的には交叉をして対側の視床を経由、大脳皮質感覚領域に投射される

## 大脳皮質の出力と視床／運動調整系

皮質 — 橋 — 小脳 — 視床経路

企画した運動計画と、実行された運動との誤差を照合し、修正を行えるように視床からの出力を調整

皮質 — 基底核 — 視床経路

静止時、運動時に、その運動が正確に実行されるように視床からの出力を調整